

とっとり民互芸

TOTTORI FOLK CRAFTS

豊かな自然に恵まれた鳥取県では、豊富な森林資源を生かした木工製品や、中国山地で採れる良質の砂鉄を原料とする鍛冶が発達するなど、多様な手工芸製品が作られてきました。

国指定史跡の青谷上寺地遺跡の出土品には、弥生人が作った多量の土器や石器をはじめ、精巧な木製容器、編み物、組み紐、絹織物、農工・漁撈具、鉄製工具などの多種多様なものが見られます。これら調度品や生活用品は、実に高度な加工技術によって製造されています。

平安時代から近世にかけては、和紙や陶器が作られ、特に鳥取県東部の因州和紙は、時代に適応しつつ、現在も地場産業として継承されています。

また、江戸時代後期には、絣や和傘の製造が始まり、一時は地場産業として地域経済を支えるほど繁栄しました。

明治時代から導入されてきた西洋の近代化は、機械化・大量生産と合わせ、生活習慣の変化をもたらし、徐々に伝統技法などは廃れていきました。

よしだしょうや
そんな時代の中、吉田璋也(明治31(1898)年-昭和47(1972)年)は、昭和6(1931)年頃から鳥取県に民藝運動を広めました。民藝運動とは、日常生活で使う雑器などの手仕事の中に美を見だし、暮らしを豊かにする運動です。吉田は医師としての仕事の傍ら、民藝のプロデューサーとして活躍し、県内の職人たちと一緒に、民藝品の企画・デザイン・製作・流通・販売・消費に至る組織を作り上げました。

現在でも吉田の精神を引き継ぎ、独自のスタイルを築いた匠たちが活躍しています。彼らの仕事は、近年、若い世代からも評価を受け、とても人気があります。

吉田が育てた鳥取県の民藝、現代作家たちが提唱する生活工芸や伝統技術を基礎に現代的感覚で制作された美術工芸と多種多様の工芸品を総称して民工芸と呼び、ご紹介いたします。

『未来につなぐ!ととりの文化遺産』>>>



制作：鳥取県 地域づくり推進部 文化政策課 2020年3月発行

住所 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
電話 0857-26-7125 FAX 0857-26-8108



2019年度 文化庁 文化資源活用推進事業

とっとり民芸のキーパーソン



SHOYA YOSHIDA

吉田 璋也 よしだしょうや 明治31(1898)年～昭和47(1972)年

医師。民藝運動家。鳥取県鳥取市生まれ。新潟医学専門学校在学中に文芸雑誌『白樺』の影響を受け、のちに民藝運動の父と呼ばれる柳宗悦に師事するようになりました。帰郷した吉田は昭和6(1931)年に牛ノ戸焼ごろはちちゃんの五郎八茶碗に出会い、窯元の小林秀晴を説得し、新作民藝運動を始めました。地元の材料と職人の技を生かして陶芸・木工・染織・金工・和紙などの多様な民藝品を作る一方で、昭和7(1932)年には「鳥取たくみ工芸店」を開店、翌年には東京支店を開店し、これらの販売・流通体制を確立しました。戦時中は応召により中国北部で従軍し、応召解除になるも再び中国で活動し、終戦を迎えます。帰郷後、鳥取民藝協団や鳥取民藝協会を組織し、鳥取民藝館(現:鳥取民藝美術館)などの鳥取民藝の拠点を形成、自らを「民藝のプロデューサー」と称し活動しました。郷土の文化財保護にも多大な功績を残し、74歳で逝去しました。

KAZUTAKA IKUTA

生田 和孝 いくた かずたか 昭和2(1927)年～昭和57(1982)年

陶芸家。鳥取県東伯郡中北条村(現・北栄町)生まれ。昭和22(1947)年に鳥取県出身の堀尾幹雄から陶芸家・河井寛次郎を紹介され、京都・藤平窯で河井武一に学んだ後、昭和26(1951)年に寛次郎に弟子入りしました。昭和30(1955)年に帰郷して吉田璋也に出会い、その後丹波へ移り市野利雄の窯で丹波焼の技法を学び、昭和35(1960)年に独立しました。釉薬はあめゆう飴釉、鉄釉に加え、父からぬかゆう粉殻灰を提供してもらい、丹波では使われてこなかった糠釉を用いました。しのぎて鎚手、面取を得意とし大胆で力強い作品を生み出しました。昭和50(1975)年、第三回日本陶芸展に「糠釉鎚手大鉢」を出品し文部大臣賞を受賞。55歳で逝去しました。生田門下として河本賢治、山下碩夫、山下清志という鳥取を代表する陶芸家たちを育てた功績は大きく、今なお郷里の人々に愛されている陶芸家です。



飴釉白流し鎚大鉢

北栄みらい伝承館所蔵



北栄みらい伝承館所蔵

嶋田 悦子 しまだ えつこ 昭和4(1929)年～

染織家。鳥取県境港市生まれ。昭和28(1953)年に嶋田太平と結婚後、東京へ移り、太平は銀座の「諸国民藝たくみ」に勤務しました。昭和31(1956)年から柳宗悦の甥で染織家の柳悦孝・悦博に師事し、弓浜緋を復興すべく、太平、母・稲岡文子と協力して活動しました。白洲正子の店「銀座こうげい」で取り扱いがはじまると次第に販路が広がり、昭和44(1969)年に帰郷し、夫と共に緋工房を開きました。昭和52(1977)年に「有限会社ゆみはま」を設立。同社解散後も緋の制作と後継者育成に尽力しています。平成15(2003)年、第23回伝統文化ポーラ賞で地域賞を受賞。平成17(2005)年、県の無形文化財「緋」保持者に指定。平成20(2008)年、県文化功労賞受賞。平成28(2016)年度地域文化功労者文部科学大臣賞受賞。



枯梗に水文木綿手紡緋着物

ETSUKO SHIMADA

SADAKO FUKUI

福井 貞子 ふくい さだこ 昭和7(1932)年～

染織家。絣研究家。絣蒐集家。鳥取県東伯郡赤碕町(現・琴浦町)生まれ。昭和27(1952)年に結婚後、大姑から倉吉絣の手解きを受け、地元の織り手であった女性たちから聞き書きし記録しました。日本女子大学(通信学部)家政学科を卒業し倉吉北高等学校教諭となり、校内併設の絣研究室の主事に就任。倉吉絣保存会の設立に参画した後、会長(後に顧問)として、絣復興や後進の指導に尽力しました。在職中から『木綿口伝』等の優れた著書を発表し、退職後も絣研究・蒐集、後継者育成、展示や体験を通じた国際交流をするとともに、絣制作に励み、作品は伝統工芸の分野で多数の受賞歴があります。平成17(2005)年に第25回伝統文化ポーラ賞で地域賞



手紡絣「山桃」

受賞。同年、県の無形文化財「絣」保持者に指定。平成18(2006)年県文化功労賞受賞。平成23(2011)年度地域文化功労者文部科学大臣賞受賞。



前田 昭博 まえた あきひろ 昭和29(1954)年～

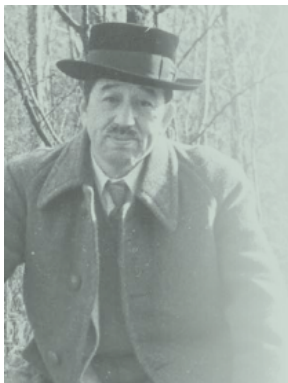
陶芸家。鳥取県八頭郡河原町(現・鳥取市河原町)生まれ。公益社団法人日本工芸会陶芸部会長。大阪芸術大学客員教授。昭和52(1977)年に大阪芸術大学工芸学科陶芸専攻卒業。大学在学中に白磁と出会い、造形性の強い作風の伝統的な作品を発表しています。面取りを施した形態に柔らかで透明感のある釉薬を掛けた作品は、光と影による陰影が美しく現代感覚にあふれ、国内外の展覧会で数多く受賞し美術館にも作品が収蔵されています。日本伝統工芸展では昭和58(1983)年初入選し以後入選を重ね、平成18(2006)年からは鑑審査委員を務めています。平成19(2007)年紫綬褒章受章、平成22(2010)年鳥取県文化功労賞受賞、平成25(2013)年鳥取県初の国の重要無形文化財「白磁」保持者に認定されるなど、日本工芸界を代表する作家の一人です。



白瓷面取壺

AKIHIRO MAETA

吉田璋也が遺したもの



吉田璋也は昭和6(1931)年に鳥取で新作民藝運動をはじめました。古作を愛でる懐古趣味ではなく、現代に相応しい民藝品を新たに作り、民藝の美を生活に取り入れようとした、地方都市では最初の民藝運動でした。

現在、鳥取駅に近い市街地に吉田ゆかりの美術館・工芸店・割烹店が並ぶ鳥取民藝館通りがあります。「見る・買う・食べる」ことで民藝のある美しい暮らしを今に伝えています。



とっとりみんげいびじゅつかん
鳥取民藝美術館

鳥取市栄町651 [MAP](#)

①10時～17時 ②水(祝日の場合は翌日休)、年末年始

※展示替え期間中臨時休館あり

入館料:大人500円、大学生300円(要学生証)、高校生以下の方は無料

☎0857-26-2367 <https://mingei.exblog.jp/>



▼ACCESS

鳥取民藝美術館は昭和24(1949)年に開館しました。民藝の美しさを世に広め、作り手の眼を養い、新たな創造の源となることを目指した鳥取民藝の発信地です。吉田が蒐集した収蔵品は、鳥取をはじめとする日本・中国・朝鮮半島等の東洋や西洋の古民藝と、吉田がプロデュースした新作民藝等約五千点に及びます。美術館建物は国の登録有形文化財に指定されており、隣接して童子地藏堂が設置されています。



とっとり こうげいてん
鳥取たくみ工芸店

鳥取市栄町651 [MAP](#)

①10時～18時

②水(祝日の場合は翌日休)、年末年始

☎0857-26-2367 <https://mingei.exblog.jp/>



▼ACCESS

鳥取たくみ工芸店は昭和7(1932)年に開店した日本で最初の民藝専門店です。たくみ工芸店という店名は柳宗悦が命名しました。吉田の新作民藝品を販売し、その普及に大きな役割を果たしてきましたが、現在では流れを汲む鳥取や島根の民藝品を中心に、日本各地の手仕事の品を取り揃えています。2階のギャラリーたくみでは延興寺窯、山根窯、因州 中井窯、国造焼の個展など様々な催しが随時開催されています。



かっぱうてん
たくみ割烹店

鳥取市栄町653 MAP3

⌚(昼の部)11時30分～14時

(夜の部)17時～22時(日・祝は21時まで)

ⓧ第三月曜(8月・12月は営業)

☎0857-26-6355 🌐<https://mingei.exblog.jp/>



▶ ACCESS

「生活的美術館」であるたくみ割烹店は昭和37(1962)年に開店しました。鳥取新作民藝の調度に囲まれた店内では、松葉ガニや岩ガキといった地元食材の郷土料理や、吉田が中国・北京の名物料理「涮羊肉」^{シュワヤンロウ}をもとに考案した「牛肉のすすぎ鍋」(しゃぶしゃぶの原型)が鳥取和牛の人気メニューになっています。民藝の器とともに楽しめる食事処です。



阿弥陀堂からの風景

こやまいけあみだどう
湖山池阿弥陀堂

鳥取市三津字小狭間戸888 MAP4

⌚10時～18時(要事前予約)

ⓧ水(祝日の場合は翌日休)、年末年始

☎0857-26-2367(鳥取たくみ工芸店)

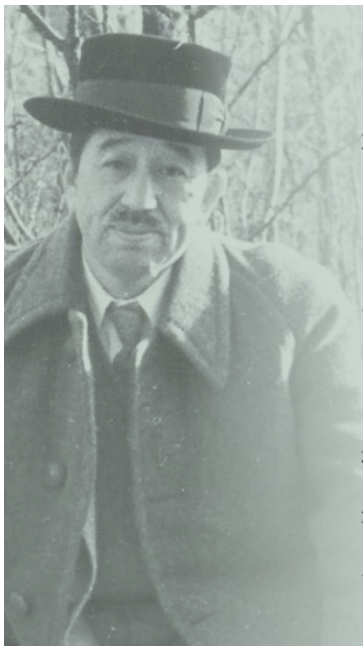
🌐<https://mingei.exblog.jp/>



▶ ACCESS

鳥取民藝美術館別館の湖山池阿弥陀堂は、昭和39(1964)年に池北岸の小山に吉田が設計し建築されました。展望室と二つの茶室、水屋を備えており、中央の展望室からは池を一望できます。正面の津生島^{つぶしま}をはじめ池に浮かぶ三島を阿弥陀三尊に見立て阿弥陀堂と名付けられました。吉田の晩年の代表作として評価され、国の登録有形文化財になっています。

吉田璋也が^{まも}護った文化財



吉田璋也は民藝運動と同時期に文化財保護活動をしています。柳宗悦は大正時代に朝鮮王朝王宮の正門「光化門」の保存を訴えました。この頃に白樺派に傾倒し柳に出会った吉田もまた、古建築の保存や景勝保護に関心を寄せるようになりました。

昭和6(1931)年、柳は牛ノ戸焼の新作民藝品の初回窯出しに立ち会うため来鳥し、鳥取藩の歴史ある箕浦家武家門が取り壊されることを知ると、保存を訴え新聞に寄稿しました。これを契機に吉田や地元有志が奔走し、武家門は移築保存されました。

戦後は昭和29(1954)年に川上貞夫らと民間団体の鳥取文化財協会を設立し、鳥取砂丘の天然記念物指定、鳥取城跡の史跡指定、仁風閣の重要文化財指定、湖山池の遺跡保存と景勝保護運動など、精力的に活動しました。こうして護られた文化財は、現在鳥取の観光資源として広く活用されています。



鳥取市の北方に発達した東西16km、南北2kmの海岸砂丘の一部で、大きな起伏と「スリバチ」と呼ばれる凹地地形など全国の海岸砂丘に例のない雄大な景観が見られます。また、風の吹いた直後、砂丘の表面には、さざなみ状の模様「風紋」が現れ、広大な砂の造形を体感することができます。国指定天然記念物。

もっと詳しい文化財情報はこちら！

とっとり文化財ナビ



<http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm>

とっとりさきゅう
鳥取砂丘

鳥取市福部町湯山 **MAP**

☎0857-22-0021(鳥取砂丘ビジターセンター)

📍鳥取砂丘ビジターセンター <https://www.sakyu-vc.com/jp/visitor/>

📍鳥取県観光連盟 <https://www.tottori-guide.jp/sakyu/>



▼ ACCESS



じんぷうかく 仁風閣

鳥取市東町2丁目121 [MAP](#)
①9時～17時(入館は16時30分まで)
②月(祝日の場合は翌日休)、祝日の翌日、年末年始
入館料:一般/個人150円、団体(20人以上)120円、
小中高生・65才以上・障がいのある方等:無料
☎0857-26-3595
🌐<http://www.tbz.or.jp/jinpuukaku/>

明治40(1907)年、旧藩主池田家の別邸として建てられた木造洋風建築で、赤坂離宮や京都国立博物館などを手がけた建築家 片山東熊が設計しました。完成時には、当時の皇太子(後の大正天皇)の山陰地方行啓の宿舎に使用されています。仁風閣の名は、このときに随行した海軍大将東郷平八郎が命名したものです。国指定重要文化財。



▼ACCESS

もっと詳しい文化財情報はこちら!

とっとり文化財ナビ

<http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm>



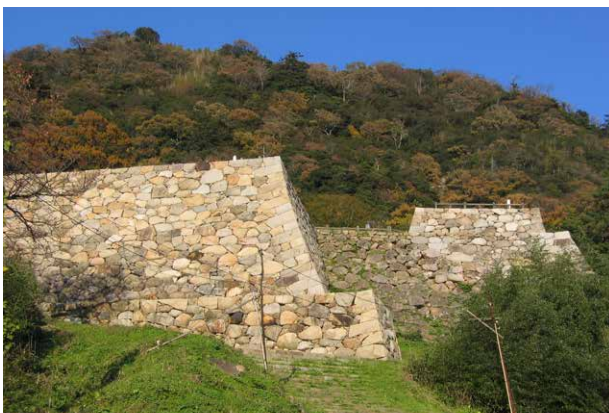
みのうらけぶけもん 箕浦家武家門

鳥取市尚徳町101(鳥取県図書館正門前) [MAP](#)
①見学自由(内部非公開)

元々、東町のお堀端にあった鳥取藩士 箕浦家(禄高 約2000石)の表門。明治維新後も久松尋常高等小学校などの通用門として使用され、昭和11(1936)年、鳥取県師範学校の増改築にあたって校門として現在地に移築されました。鳥取藩の上士層の家門で、鳥取市内に現存する唯一のものです。鳥取市指定文化財。



▼ACCESS



とっとりじょうあと 鳥取城跡

鳥取市東町2丁目
[MAP](#)
①見学自由



▼ACCESS

鳥取城は、久松山を利用した典型的な山城で、16世紀中頃の築城と伝えられます。戦国時代には羽柴(後の豊臣)秀吉の兵糧攻めの舞台になり、江戸時代には鳥取藩32万石の居城となりました。頂上の山上ノ丸を本丸とし、山麓に山下ノ丸を設けた古い山城の形式が特徴で、多様な城の姿を残しています。国指定史跡。日本百名城。

もっと詳しい文化財情報はこちら!

とっとり文化財ナビ

<http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm>



体験・見学・買い物 スポット紹介

EAST TOTTORI



うしのとやき 牛ノ戸焼

見学 買い物

江戸時代末期から続く牛ノ戸焼は梅文様の徳利など日用雑器を生産していましたが、昭和6(1931)年に四代目小林秀晴が吉田璋也の指導を受け、鳥取新作民藝を代表する緑と黒の染分皿を最初に作り出しました。六代目の孝男は七代目の遼司と共に、牛ノ戸焼の伝統を守りつつ現代に馴染む器作りに取り組んでいます。

鳥取市河原町牛戸185 [MAP](#)
①9時～17時(訪問時要予約)
Ⓜ不定休
☎0858-85-0655



▼ACCESS



いんしゅう なかいがま 因州 中井窯

見学 買い物

昭和20(1945)年に開窯し、二代目坂本實男は吉田璋也の指導を受け新作民藝に取り組みました。三代目の章は、緑・白・黒の釉薬を掛け分けた三色染分皿を代表作に「柳宗理ディレクション」シリーズや伝統工芸の青磁の作品など未来に繋ぐ創作を続けています。平成30(2018)年からは四代目の宗之も加わり作陶しています。

鳥取市河原町中井243-5 [MAP](#)
①9時～17時(訪問時要予約)
Ⓜ不定休
☎0858-85-0239
🌐<http://www.nakaigama.jp>



▼ACCESS

EAST TOTTORI



やまねがま 山根窯

買い物

青谷生まれの石原幸二は、三重の神楽窯、鳥取の岩井窯で修業し、昭和60(1985)年に工房を構えました。民藝に囲まれた暮らしから、化粧土にスポイトで文様を描いたスリップウェアや、飴・白・黒・瑠璃といったくしがき ろうぬき釉色と櫛描・蠟抜等の技法の日常の器、海外の民藝品をもとにした壺等、自由に大らかな作品を生み出しています。

鳥取市青谷町山根190 [MAP](#)

①9時～17時(訪問時要予約)

Ⓜ不定休

☎0857-86-0531

🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/31158.htm>



▼ACCESS



かん いわいがま クラフト館 岩井窯

見学 買い物

吉田璋也から民藝を学び、バーナード・リーチとの出会いから陶芸家を志し、鳥根の出西窯で修業した山本教行。作品は深みのある飴釉の土鍋シリーズや塩釉のピッチャー、ぞうがん象嵌・搔き落とし等の加飾技法の器など実に多種多様です。美しい暮らしが息づく敷地内には工房・作品展示室・参考館・喫茶・食事処があります。

岩美郡岩美町宇治134-1 [MAP](#)

①10時～16時

Ⓜ月・火(祝祭日は開館)

☎0857-73-0339

🌐<http://www.iwaigama.com>



▼ACCESS



えんごうじがま 延興寺窯

見学 買い物

山下清志は、生田和孝に師事し、兄・碩夫とともに浦富焼を再興した後、昭和54(1979)年に延興寺窯を開きました。現在は、三女の裕代と親子で作陶しており、地元の材料と登り窯にこだわり、白・黒・鉛・瑠璃等の釉色と、しのぎ鏝・面取・盛絵等の加飾技法を用い、温かみのある器を作っています。平成29(2018)年には工房を新築し、若手の育成にも取り組んでいます。

岩美郡岩美町延興寺525-4 [MAP](#)

①9時～18時(訪問時要予約)

Ⓜ不定休

☎0857-73-1219

🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/27513.htm>



▼ACCESS



うらどめやき 浦富焼

見学 買い物

江戸末期から明治初期までの十数年間、浦富海岸近くの山中の陶石を用い、鳥取藩保護のもと、染付の日用雑器が浦富の地で焼かれていました。昭和45(1970)年、初代山下碩夫が桐山城跡の浦富側山麓に登り窯を築き、江戸時代と同様の陶石を使い、白磁・染付・黒刷毛を主に現代生活に合う日用品、美術工芸品を製作しました。平成21(2009)年、二代目平田俊之が瑠璃・青磁など独自の釉薬を用いた日常雑器も加え、継承しています。

岩美郡岩美町浦富3174-3 [MAP](#)

①10時～17時(訪問時要予約)

Ⓜ不定休

☎0857-72-0255

🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/207240.htm>



▼ACCESS



わしこうぼう あおや和紙工房

体験 見学 買い物

国指定伝統的工芸品「因州和紙」を紹介する展示ギャラリー、ショップと体験工房があります。紙漉き体験メニューも豊富に揃えています。

体験 受入可能人数：1～40名
 内容：・ハガキ～A3サイズ1枚 300～500円/45～60分
 ・ランプシェードほか 800円～/60分～*
 *詳細は、ホームページで御確認ください。

鳥取市青谷町山根313 **MAP** ①9時～17時
 ②月(月曜が祝祭日の場合は、翌平日)、年末年始
 ☎0857-86-6060 <http://www.tbz.or.jp/aoya-washi/>



▼ACCESS



いんしゅうわしでんしょうこうぼう 因州和紙伝承工房かみんぐさじ

体験 見学 買い物

「因州和紙」(主に書道用紙)を製造する工場と直営ショップがあります。体験メニューも充実しており、和紙作りが楽しめます。

体験 受入可能人数：1～40名(5名以上は要予約)
 内容：・ハガキ、色紙 500円/60分
 ・しおり、コースター、うちわ 700円/90分

鳥取市佐治町福園146-4 **MAP**
 ①9時～16時(体験受付は15時まで) ②水、年末年始
 ☎0858-89-1816 <https://www.coming-saji.com/>



▼ACCESS



そら ギャラリーショップSORA

買い物

鳥取県内から全国まで若手作家の手仕事を幅広く紹介しています。

鳥取市栄658-3(サンロード商店街) **MAP**
 ①11時～17時
 ②水(祝日の場合翌日)
 ☎0857-29-1622 <https://gallery-sora-kuu.com/>



▼ACCESS



つれ ギャラリー集

体験 見学 買い物

浦富焼を中心として、牛ノ戸焼、福光焼、型染、竹作品等様々な工芸品を販売しています。型染の体験教室では、一般の方も体験できます。

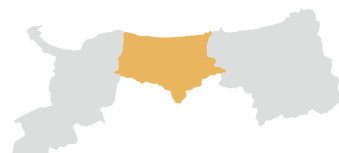
体験 受入可能人数：3名～30名程度(要予約)
 実施日：水、木
 内容：型染(ハガキ大の布) 1,500円/60～120分

鳥取市川端1-104 **MAP**
 ①10時～17時30分(体験受付は15時まで)
 ②不定休、年末年始 ☎0857-26-6156



▼ACCESS

MID TOTTORI



ふくみつやき 福光焼

見学 買い物

初代河本賢治は昭和45(1970)年に生田和孝に師事し、昭和55(1980)年登り窯を築炉し、独立しました。生田が得意とした面取しのぎや鍋の造形技術を継承し、伝統技法の蹴りろくろや登り窯を使った作品づくりにこだわっています。初代賢治は陶箱やポットなど蓋物を得意として、平成18(2006)年、二代目慶は現代的な色使いのシンプルな日用品を作り、令和2(2020)年、それぞれ鳥取県伝統工芸士に認定されました。

倉吉市福光800-1 [MAP19](#)

⑩9時～17時(訪問時要予約)

Ⓜ不定休

☎0858-28-0605

🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/67718.htm>



▼ACCESS



こくぞうやき 国造焼

見学 買い物

創始者の祖先が焼物に適した不入岡・上神一帯の陶土に着目し、明治23(1890)年に移住し、陶芸を始めました。昭和50(1975)年、「こくぞうさん」を祭った大將塚に因み、初代山本秀治が「国造焼」を創始しました。三代目浩彩は無釉焼締窯変むゆうやきしめようへんを極め、平成27(2015)年県指定無形文化財「陶芸」保持者に認定されました。また、四代目佳靖は現代的なカップから焼締窯変の美術作品まで手掛け、令和2(2020)年鳥取県伝統工芸士に認定され、妹・花野子と共に新しい作品作りに挑戦しています。

倉吉市不入岡390 [MAP20](#)

⑩10時～17時(訪問時要予約)

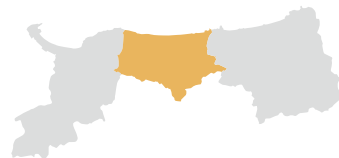
Ⓜ不定休

☎0858-22-8388

🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/30752.htm>



▼ACCESS



とっとり民げいもっこう
鳥取民芸木工

見学 買い物

吉田璋也の指導を受けた父・福田祥から木工の技や民藝の精神を学んだ豊は、現在唯一の鳥取民芸木工の継承者です。平成29(2018)年に県無形文化財「木工芸」保持者に認定されました。現在は小木工品を中心に制作し、無垢材を用い拭き漆で仕上げています。吉田がデザインした伸縮式の電気スタンドは代表的な逸品です。

倉吉市黒見407-1 [MAP](#)
 ①9時～18時(訪問時要予約)
 ②不定休
 ☎0858-28-3037
 🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=63044>



▶ACCESS



あかがわらじゅういちごうかん とうげいかん うつぶきやき
赤瓦十一号館 陶芸館 打吹焼

体験 見学

倉吉市観光の中心、白壁土蔵群にあります。ショッピングや町並み観光とセットで楽しめます。

体験 受入可能人数：1～40名(要予約)
 内容：製作体験のみ 1,000円
 仕上げ・焼成 1,500円(送料別)

倉吉市新町1丁目2443 [MAP](#)
 ①9時～16時(訪問時には要予約) ②水 ☎090-1330-6285
 🌐<https://www.kurayoshi-kankou.jp/2017/07/03/赤瓦十一号館-陶芸館/>



▶ACCESS



くらのよし こうげいかん
倉吉ふるさと工芸館

体験 見学 買い物

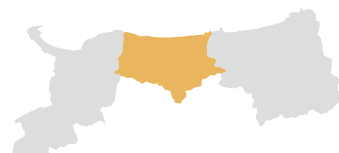
江戸時代末期から製造され、精巧な絵絣が特徴の倉吉絣を展示、販売をしています。

体験 受入可能人数：1～2名
 内容：絣コースターづくり 1枚1,000円/60分

倉吉市東仲町2606 [MAP](#)
 ①9時～17時(体験受入9時30分～15時)
 ②水、年末年始 ☎0858-23-2255
 🌐<https://www.kurayoshi-kankou.jp/hurusatokougei/>



▶ACCESS



かずわやき 上神焼

しんしゃゆう

辰砂釉（赤色）が伝統的な特徴の窯元です。木立の中に古民家のギャラリーショップがあります。

体験 見学 買い物

体験 受入可能人数：1～30名（要予約）
内容：マグカップ、皿等 1個2,000円
（仕上げ・焼成込・送料別）～/60分

倉吉市不入岡395 [MAP](#)
①9時～17時（訪問時は要予約） ②不定休
☎0858-22-8389 <https://www.pref.tottori.lg.jp/30635.htm>



▼ ACCESS



ココロストア

COCOROSTORE

買い物

鳥取県内若手作家の手仕事を中心に、こだわりの食品まで幅広く紹介しています。

倉吉市魚町2516 [MAP](#)
①10時～18時
②火・水、不定休有
☎0858-22-3526 <https://cocoro.stores.jp/>



▼ ACCESS



とっとりたんきだいがくかすりびじゅつかん

鳥取短期大学 絣美術館

精巧な絵絣が特徴の倉吉絣の明治・大正期作品から下絵や型紙等を展示しています。


倉吉市福庭854 [MAP](#) 入館料：無料
①10時～16時 ②土、日、祝 その他大学休業日（お盆、年末年始など）
☎0858-27-0107
<https://www.cygnus.ac.jp/index.php?view=5759>



▼ ACCESS



 **tottori** ととりの手仕事 HP
www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto

 [tottori_teshigoto](#) 



 Google「日本の匠」
鳥取県



こうぼう 工房ゆみはま

見学 買い物

古くから伯州棉で名高い弓ヶ浜地方では、女性たちが心を込めて、木綿の絁を織ってきました。鶴亀、松竹梅などの吉祥文様のほか、風景、動物、物語、時代背景、幾何学文様など今に伝わる限りない絵絁は、飾らぬ表情で人の想いと時代の流れを伝えます。古い木綿絁に心動かされ、手が生む布の風合いに惹かれた職人が地綿作りから、糸紡ぎ、天然藍染め、機織りたかはた（高機）を手作業で仕事しています。

境港市竹内町899 [MAP](#)
 ①10時～17時（訪問時要予約）
 ②日・祭日
 ☎0859-45-7610
 🌐<http://www.pref.tottori.lg.jp/39562.htm>



▼ACCESS



だいせんやきくごがま 大山焼久古窯

たまはがねようてんもく

体験 見学 買い物

金属色の光沢が美しい玉鋼耀天目を主に生活用品から美術品まで製造しています。名峰大山の麓にあり、植田正治写真美術館も近くに 있습니다。

体験 受入可能人数：1～20名（要予約）
 内容：茶碗1個 2,500円

（仕上げ・焼成込・送料別）～/60分～120分

西伯郡伯耆町久古1401 [MAP](#)
 ①9時～17時（訪問時には要予約） ②不定休
 ☎0859-68-2098 🌐<https://kugogama.wordpress.com/>



▼ACCESS



ほっしょうじやきかいけがま 法勝寺焼皆生窯

体験 見学 買い物

皆生温泉近くにあり、昭和36年に法勝寺焼二代目が松花窯の脇窯として、登り窯を築いたのが始まりです。皆生の砂や日野川河口の砂鉄を粘土や釉薬の中に混ぜるなどの新しい技法を取り入れて製作しています。

体験 受入可能人数：2～20名（要予約）
 内容：土1kg分（茶碗2個程度）3,500円

（焼成込・送料別）/120分

米子市皆生温泉2-19-52 [MAP](#)
 ①9時～17時（訪問時は要予約） ②不定休
 ☎0859-33-2826 🌐<https://www.pref.tottori.lg.jp/32548.htm>



▼ACCESS

WEST TOTTORI



わがさでんしょうかん 和傘伝承館

体験 見学 買い物

米子市淀江町は、西日本における和傘の大産地であり、江戸時代から製造されてきました。現在は、淀江傘伝承の会が製造を続け、後世へ伝える取組を行っています。

体験 受入可能人数：折り紙傘：2～30名 ランプづくり：2～10名（要予約）
内容：折り紙の傘づくり 1,300円/60分
ミニランプづくり スタンド大：11,200円/60分
スタンド小：6,800円/60分

米子市淀江町淀江796 [MAP](#)
①19時～17時（体験は要予約） ②日、月、祝日
☎0859-56-6176 <https://www.pref.tottori.lg.jp/81102.htm>



▼ACCESS



かすりてん ごとう絣店

買い物

自社工場で製作した、弓浜絣のバッグや暖簾から帯、着尺まで専門店ならではの品揃えです。

米子市茶町10 [MAP](#)
①10時～18時
②木
☎0859-22-5414



▼ACCESS



えん ギャラリーEN

買い物

弓浜絣から山陰地区の陶磁器、ガラス、郷土玩具等工芸品を幅広く、取り揃えています。

米子市角盤町1丁目30番地（JU米子タカシマヤ4階）
①10時～18時（一部閉店時間が異なる期間あり） [MAP](#)
②JU米子タカシマヤに準ずる
☎0859-22-1111 [f](#) 山陰の手仕事 ギャラリー-en [Q](#)



▼ACCESS



よなごしりつさんいんれきしかん 米子市立山陰歴史館

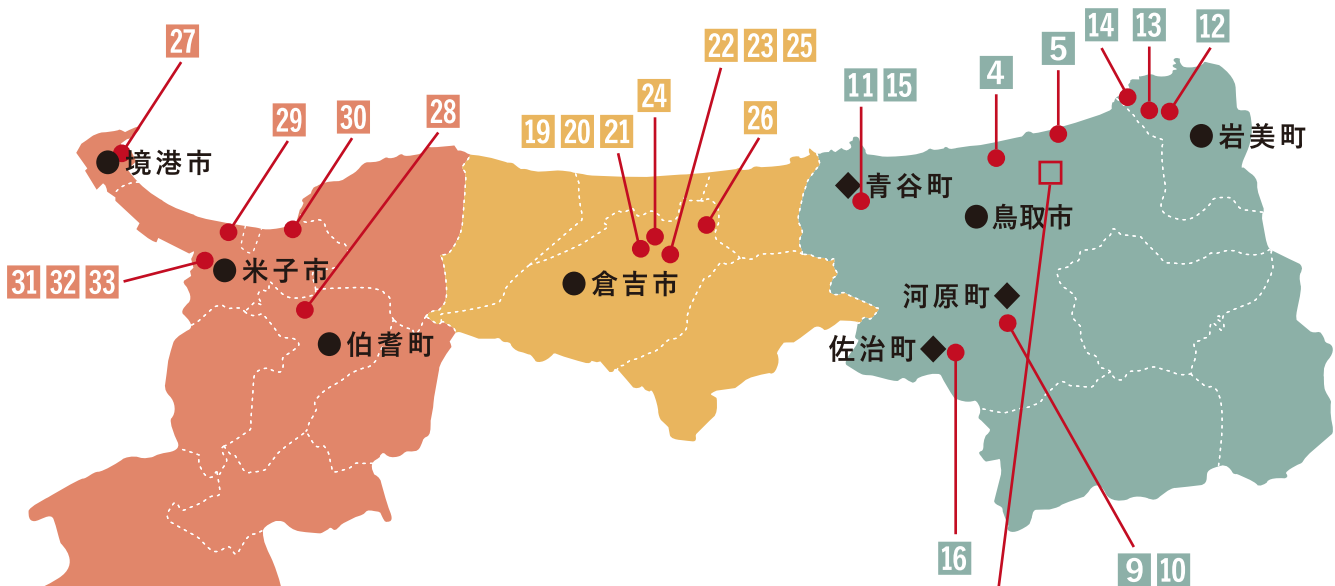
モダンな洋館、旧米子市役所にて、弓浜絣をはじめ、米子の民俗資料や米子城の資料などを展示しています。

米子市中町20 [MAP](#) 入館料：無料（企画展・特別展は別途）
①9時30分～18時（入館は17時30分まで）
②火、祝日の翌日、年末年始
☎0859-22-7161 <https://www.yonagobunka.net/rekishi/>



▼ACCESS

TOTTORI FOLK CRAFTS MAP



● 伯耆町

28 大山焼久古窯

● 米子市

29 法勝寺焼皆生窯

30 和傘伝承館

31 ごとう餅店

32 ギャラリーEN

33 米子市立山陰歴史館

● 境港市

27 工房ゆみはま

● 倉吉市

19 福光焼

20 国造焼

21 鳥取民芸木工

22 赤瓦十一号館 陶芸館 打吹焼

23 倉吉ふるさと工芸館

24 上神焼

25 COCOROSTORE

26 鳥取短期大学 絣美術館

● 鳥取市

1 鳥取民藝美術館

2 鳥取たくみ工芸店

3 たくみ割烹店

4 湖山池阿弥陀堂

5 鳥取砂丘

6 仁風閣

7 箕浦家武家門

8 鳥取城跡

17 ギャラリーショップSORA

18 ギャラリー集

◆ 河原町

9 牛ノ戸焼

10 因州 中井窯

◆ 佐治町

16 因州和紙伝承工房
かみんぐさじ

◆ 青谷町

11 山根窯

15 あおや和紙工房

● 岩美町

12 クラフト館 岩井窯

13 延興寺窯

14 浦富焼

